

注意：(1) 答のみの問題で、問題番号を囲む括弧は数式上必要な括弧を兼ねていない。例えば

$x^2+2x-3=(1)(x-1)$ となっていたら(1)の正解は $(x+3)$ であり、 $((1))(x-1)$ となっていたら正解は $x+3$ である。また、不必要な括弧をつけた解答も減点もしくは0点とする。

(2) $\frac{b}{a}$ を b/a と表すことがある。任意定数として C などを用いるときは特に断らなくてよい。

1. 次の計算の括弧に入る最も適切な答えを解答用紙に書け。ただし、答のみ。(10点)

(ここから) $I = \iint_D \frac{x}{\sqrt{x^2+y^2}} dx dy$, $D: x^2+y^2 \leq 5, x \geq 0, y \geq 0$ を求める。 $0 < e < 1$ に対し

て $D_e: e^2 \leq x^2+y^2 \leq 5, x \geq 0, y \geq 0$, $I_e = \iint_{D_e} \frac{x}{\sqrt{x^2+y^2}} dx dy$ とする。極座標に変換すると

$$I_e = \int_0^{(1)} \int_{(2)}^{(3)} (4) dr dq = \left(\int_0^{(1)} (5) dq \right) \left(\int_{(2)}^{(3)} (6) dr \right) \\ = [(7)]_0^{(1)} \cdot [(8)]_{(2)}^{(3)} = \frac{1}{2} ((9)) \therefore I = \lim_{e \rightarrow +0} I_e = (10)$$

2. 次の2重積分の値を求めよ。ただし、答のみ。(6点)

(1) $\iint_D x dx dy$, $D: x^2+y^2 \leq 3, x \geq 0, y \geq 0$

(2) $\iint_D \sqrt{x^2+y^2} dx dy$, $D: 6 \leq x^2+y^2 \leq 8$

(3) $\iint_D \left(1 - \frac{\sqrt{x^2+y^2}}{4} \right) dx dy$, $D: (x-2)^2+y^2 \leq 4$

(4) $\iint_D (9-x^2-y^2) dx dy$, $D: x^2+y^2 \leq 9$

3. 次の計算の括弧に入る最も適切な答えを解答用紙に書け。ただし、答のみ。(9点)

(ここから) $I = \iint_D (x+y) dx dy$, $D: 0 \leq y+4x \leq 4, 0 \leq y-4x \leq 4$ を求める。 $u = y+4x$,

$v = y-4x$ と変換する。 x, y を u, v で表せば $x = (1)$, $y = (2)$ $\therefore \frac{\partial(x, y)}{\partial(u, v)} = (3)$

$$x+y = (4) \therefore I = \frac{1}{64} \int_0^4 \int_0^4 ((5)) dv du = \frac{1}{64} \int_0^4 [(6)]_0^4 du = \frac{1}{16} \int_0^4 ((7)) du \\ = \frac{1}{16} [(8)]_0^4 = (9)$$

4. 次の各問に答えよ。ただし、答のみ。(25点)

(1) ある物質の質量が減少する割合(変化率)はそのときの質量に比例するという。比例定数を

$k (k > 0)$ として, 時刻 t における質量 $y = y(t)$ についての微分方程式を作れ。

(2) 微分方程式 $\frac{dy}{dx} = -y + e^{-x} \dots$ ① について, 次の問いに答えよ。

[1] $\frac{dy}{dx} = -y$ の一般解を求めよ。 [2] ①の一般解を求めよ。

[3] $y(1) = 5$ を満たす①の特殊解を求めよ。

(3) c が 0 でない定数のとき, 次の曲線が解曲線となるような微分方程式を作れ。

[1] $y = \log(x + C)$ [2] $y = \frac{C}{x + 1}$

(4) 微分方程式 $\frac{dy}{dx} - \frac{2xy}{x^2 + 1} = x^3 + x \dots$ ② に関する次の計算の括弧に入る最も適切な答えを

解答用紙に書け。

(ここから) $\frac{dy}{dx} - \frac{2xy}{x^2 + 1} = 0$ の一般解を求めると $y = C$ [1] となる。 C を $u = u(x)$ に置き換

えて $y = u$ [1] を②に代入して計算すれば $\frac{du}{dx} =$ [2] となりこれを解いて $u =$ [3] + C

以上より②の一般解は $y =$ [4] となる。また $y(0) = 0$ を満たす②の特殊解を求めると

$y =$ [5] となる。(ここまで)

(5) 微分方程式 $\frac{dy}{dx} = \frac{y^2 - 2x^2}{xy} (x > 0) \dots$ ③ について, 次の問いに答えよ。

[1] $u = \frac{y}{x}$ として③から u の微分方程式を導け。 [2] ③の一般解を求めよ。

[3] $y(1) = 3$ を満たす③の特殊解を求めよ。

5. $I = \iiint_K z^4 dx dy dz$, $K: x^2 + y^2 + z^2 \leq R^2 (R > 0)$ を求める次の計算の括弧に入る最も適切な答えを解答用紙に書け。ただし, 答のみ。(5点)

(ここから) $|z| \leq R$ を満たす z に対して xy 平面上の領域 $D_z: x^2 + y^2 \leq R^2 - z^2$ を考えれば

$$\iint_{D_z} dx dy = (1) \text{ だから } I = \int_{-R}^R \left(\iint_{D_z} (2) \right) dz = \int_{-R}^R (3) dz = 2p[(4)]_0^R = (5)$$

6. $I = \iint_D x^{p-1} y^{q-1} (1-x-y)^{r-1} dx dy$, $D: x+y \leq 1, x \geq 0, y \geq 0$ とするとき, 次の等式を

証明せよ。ただし, p, q, r は正の定数とする。(12点)

$$(1) I = B(p+q, r)B(p, q) \quad (2) B(p+q, r)B(p, q) = B(p, q+r)B(q, r)$$

7. 次の計算の括弧に入る最も適切な答えを解答用紙に書け。ただし, 答のみ。(8点)

$$(ここから) I = \int_0^\infty (x+1)^2 \exp(-x^2) dx \text{ を求める。 } \int_0^\infty \exp(-x^2) dx = (1)$$

$$\int_0^{\infty} x \cdot \exp(-x^2) dx = [(2)]_0^{\infty} = (3)$$

$$\int_0^{\infty} x^2 \cdot \exp(-x^2) dx = [(4)]_0^{\infty} + \int_0^{\infty} (5) dx = (6) \text{ (部分積分法), 従って } I = (7)$$

8. ある物質の濃度 $y = y(t)$ は時刻 t とともに変化し、微分方程式

$$\frac{dy}{dt} = -100 \exp(-3t) + 4(20 - y) \cdots \textcircled{1}, \quad y(0) = 10 \cdots \textcircled{2} \text{ を満たしている。このとき、次の問$$

いに答えよ。ただし、(3), (4) は答のみ。(13点)

- (1) $\frac{dy}{dt} = 4(20 - y)$ の一般解を求めよ。 (2) $\textcircled{1}$ の一般解を求めよ。
 (3) $\textcircled{2}$ の条件を満たす $\textcircled{1}$ の特殊解を求めよ。 (4) $\lim_{t \rightarrow \infty} y(t)$ を求めよ。

9. $\frac{dy}{dx} + xy = y^3 \exp(x^2) \cdots \textcircled{1}$ の解法に関する次の計算の括弧に入る最も適切な答えを解答用

紙に書け。ただし、答のみ。(12点)

(ここから) $z = \frac{1}{y^2}$ とすれば $\frac{dz}{dx} = (1) \frac{dy}{dx}$ だから $\textcircled{1}$ より z の 1 階線形微分方程式

$\frac{dz}{dx} - (2) z = (3) \exp(x^2) \cdots \textcircled{2}$ が導かれる。 $\frac{dz}{dx} - (2) z = 0$ の一般解を求めると

$z = C (4)$ となる。 C を $u = u(x)$ に置き換えて $z = u (4)$ を $\textcircled{2}$ に代入し u の微分方程式を解けば $u = (5) + C$ となる。従って $z = (6)$ となるから $y^2 = (7)$ なお、 $y = 0$ も解である。